

地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項及び静岡県大井川広域水道企業団水道用水供給事業の設置等に関する条例（昭和 52 年静岡県大井川広域水道企業団条例第 12 号）第 8 条の規定に基づき、令和 4 年度決算及び令和 5 年度上期の業務状況を公表する。

令和 5 年 11 月 30 日

静岡県大井川広域水道企業団  
企業長 市川敏之

## 静岡県大井川広域水道用水供給事業

令和 4 年度決算及び令和 5 年度上期の業務状況

静岡県大井川広域水道企業団

## 目 次

1	令和4年度決算	
(1)	事業の概況	
ア	用水供給業務	1
イ	建設工事	1
(2)	経理の状況	
ア	収益的収入及び支出	2
イ	資本的収入及び支出	3
ウ	予算の執行状況	4
エ	損益計算書	5
オ	貸借対照表	5
(3)	その他の予算	6
2	令和5年度上期の業務状況	
(1)	事業の概況	
ア	用水供給業務	7
イ	建設工事	7
(2)	経理の状況	
ア	予算執行状況	8
(3)	その他の予算	9

## 1 令和4年度決算

### (1) 事業の概況

#### ア 用水供給業務

令和4年度は、静岡県大井川広域水道企業団水道用水供給条例に基づき1日最大118,300立方メートルの用水供給業務を実施し、これによる年間有収水量は38,098,849立方メートルとなった。

#### 1日最大使用水量及び年間有収水量

(単位：m<sup>3</sup>)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減率 (%)
1日最大使用水量	118,300	118,300	0.0
年間有収水量	38,098,849	37,936,294	0.4

#### イ 建設工事

令和4年度に実施した建設工事は次のとおりである。

#### 施設更新等整備費

(単位：円)

	件名及び内容	金額
工事費	川口取水工上水専用施設耐震補強工事 (令和2～3年度債務 R2：306,000,000、R3：167,300,000) [R4繰越：94,465,000]	94,465,000
	相賀浄水場可とう管補強工事	61,215,000
	送水施設計装設備更新工事(その2) (令和3～4年度債務 R3：0、R4：220,044,000)	220,044,000
	相賀浄水場中央情報処理設備更新工事 (令和4～6年度債務 R4：0、R5～6：904,200,000)	0
	相賀浄水場薬品注入設備更新工事 (令和3～5年度債務 R3：0、R4：270,000,000 [R5繰越：30,000,000]、 R5：643,000,000)	240,000,000
	右岸送水管地蔵峠線移設工事 (令和3年度：31,240,000 [R4繰越：50,391,000])	50,391,000
	相賀浄水場脱水機棟ほか耐震補強工事 (令和4～6年度債務 R4：0、R5～6：86,845,000)	0
	計 (7件)	666,115,000

調査費	左岸送水管藤枝線移設設計業務委託	5,720,000
	相賀浄水場電気設備更新実施設計業務委託	4,950,000
	施設更新実施計画策定支援業務委託 (令和4~5年度債務 R4:0、R5:34,100,000)	0
	掛川市受水点設置に伴う送水案検討及び送水施設詳細設計業務委託 [R5繰越:29,700,000]	0
	榛南水道用水供給事業との統合に伴う基本設計業務委託 (令和4~5年度債務 R4:0、R5:20,900,000)	0
	計 (5件)	10,670,000
	合計 (12件)	676,785,000

## (2) 経理の状況

### ア 収益的収入及び支出（消費税及び地方消費税抜き）

令和4年度の収益的収入及び支出については次のとおりである。

収入 (単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率 (%)
営業収益	3,045,977,817	3,037,342,250	8,635,567	0.3
営業外収益	933,779,007	933,296,879	482,128	0.1
計	3,979,756,824	3,970,639,129	9,117,695	0.2

支出 (単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率 (%)
営業費用	3,512,612,399	3,536,621,555	△24,009,156	△0.7
営業外費用	82,429,001	96,700,034	△14,271,033	△14.8
計	3,595,041,400	3,633,321,589	△38,280,189	△1.1

損益 (単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度
当年度純利益	384,715,424	337,317,540

イ 資本的收入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

収入 (単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率 (%)
出 資 金	188,223,174	208,525,272	△20,302,098	△9.7
負 担 金	10,209,042	11,186,149	△977,107	△8.7
企 業 債	0	109,000,000	△109,000,000	皆減
補 助 金	0	22,335,000	△22,335,000	皆減
計	198,432,216	351,046,421	△152,614,205	△43.5

支出 (単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率 (%)
建 設 改 良 費	745,168,776	638,483,917	106,684,859	16.7
企 業 債 償 還 金	704,329,904	782,749,628	△78,419,724	△10.0
国庫補助金返還金	2,025,952	0	2,025,952	皆増
長期借入金償還金	0	10,180,595	△10,180,595	皆減
計	1,451,524,632	1,431,414,140	20,110,492	1.4

資本的収支不足額 (単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度
資本的収支不足額	1,253,092,416	1,080,367,719

ウ 予算の執行状況

令和4年度の予算執行状況（消費税及び地方消費税込み）は次のとおりである。

（単位：円）

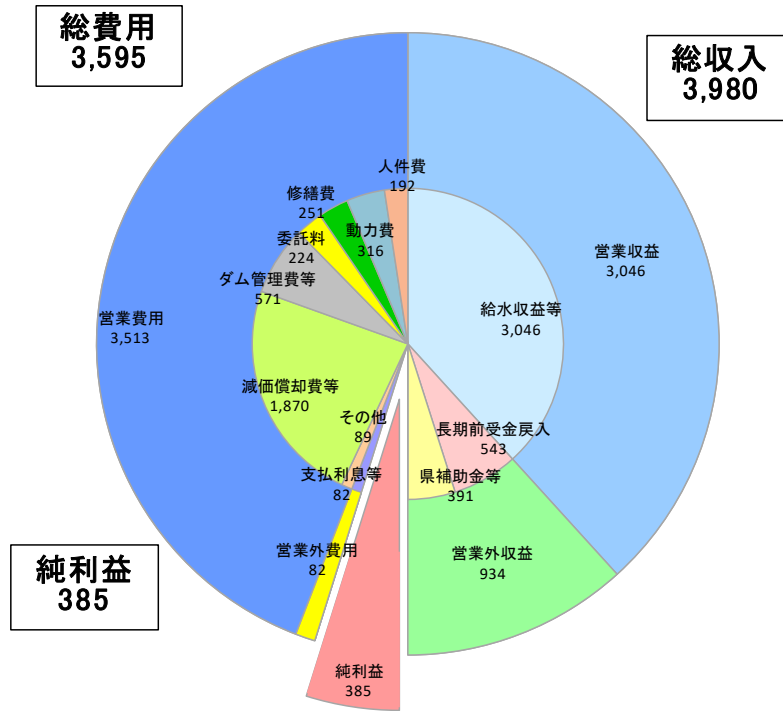
区 分	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	執行率(%)	令和3年度 決算額
収益的収入	4,303,316,000	4,284,358,581	99.6	4,274,375,889
営業収益	3,303,137,000	3,350,575,567	101.4	3,341,076,447
営業外収益	1,000,179,000	933,783,014	93.4	933,299,442
収益的支出	4,015,628,000	3,834,636,748	95.5	3,881,972,437
営業費用	3,777,856,000	3,620,209,552	95.8	3,637,861,661
営業外費用	227,772,000	214,427,196	94.1	244,110,776
予備費	10,000,000	0	0.0	0
収入・支出差引	287,688,000	449,721,833	—	392,403,452
資本的収入	235,632,000	198,432,216	84.2	351,046,421
出資金	188,223,000	188,223,174	100.0	208,525,272
負担金	47,409,000	10,209,042	21.5	11,186,149
企業債	0	0	—	109,000,000
補助金	0	0	—	22,335,000
資本的支出	1,551,004,000	1,451,524,632	93.6	1,431,414,140
建設改良費	840,922,000	745,168,776	88.6	638,483,917
企業債償還金	707,056,000	704,329,904	99.6	782,749,628
国庫補助金返還金	2,026,000	2,025,952	100.0	0
長期借入金償還金	0	0	—	10,180,595
予備費	1,000,000	0	0.0	0
収入・支出差引	△ 1,315,372,000	△ 1,253,092,416	—	△ 1,080,367,719

（注） 資本的収支の不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金及び損益勘定留保資金で補てんした。

エ 損益計算書 (税抜)

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

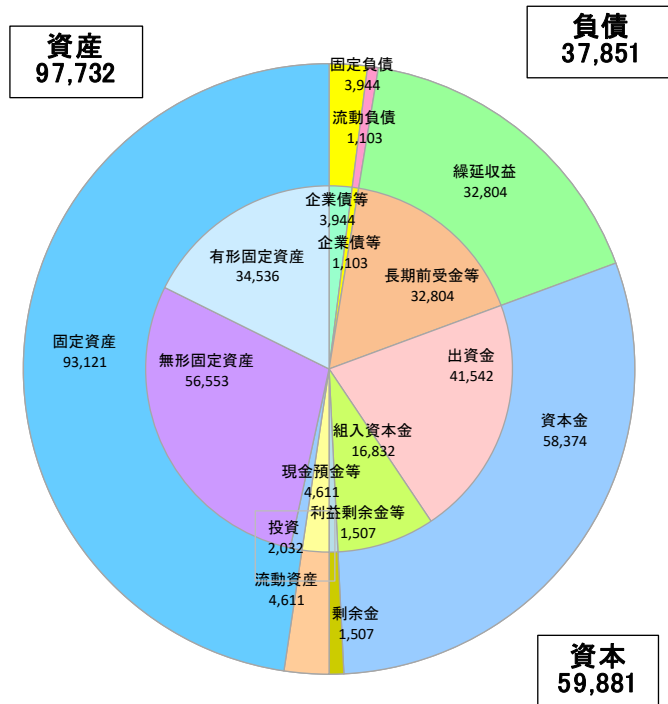
(単位:百万円)



オ 貸借対照表 (税抜)

(令和5年3月31日現在)

(単位:百万円)



### (3) その他の予算

#### ア 一時借入金の限度額

一時借入金は、限度額 300,000,000 円に対し、借り入れはなかった。

#### イ 議会の議決を経なければ流用することができない経費

職員給与費は、予算額 193,125,000 円に対し、決算額は 192,530,856 円であり、予算の範囲内で執行されている。交際費は予算額 100,000 円に対し、5,000 円の執行であった。

#### ウ 他会計からの補助

長島ダム管理費負担金及び国有資産等所在市町村交付金に充てるため、静岡県的一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、予算額 467,486,000 円に対し、決算額は 381,448,018 円であった。

#### エ たな卸資産購入限度額

たな卸資産は、購入限度額 1,000,000 円に対し、決算額は 192,709 円であった。



## 2 令和5年度上期の業務状況

### (1) 事業の概況

#### ア 用水供給業務

令和5年度の1日最大使用水量は、前年度水量と同量の118,300立方メートルで実施した。

上期月別有収水量 (単位：m<sup>3</sup>)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
日 数	30 日	31 日	30 日	31 日	31 日	30 日
計 画	3,063,604	3,177,622	3,164,387	3,385,911	3,342,334	3,177,075
実 績	3,029,465	3,155,629	3,167,637	3,441,967	3,355,100	3,183,665
増 減	△34,139	△21,993	3,250	56,056	12,766	6,590

上期有収水量 (単位：m<sup>3</sup>)

区 分	上期計
日 数	183 日
計 画	19,310,933
実 績	19,333,463
増 減	22,530

#### イ 建設工事

施設更新等整備費は、令和5年度予算額1,557,809,000円及び前年度繰越額59,700,000円の計1,617,509,000円に対し、令和5年度上期の工事等契約額は1,540,161,000円であった。内訳は、工事費として、相賀浄水場中央情報処理設備更新工事（令和4～6年度債務負担行為）、相賀浄水場脱水機棟ほか耐震補強工事（令和4～6年度債務負担行為）及び相賀浄水場薬品注入設備更新工事（令和3～5年度債務負担行為）を実施した。また、調査費により、施設更新実施計画策定支援業務委託（令和4～5年度債務負担行為）及び掛川市受水点設置に伴う送水案検討及び送水施設詳細設計業務委託並びに榛南水道統合事業として、榛南水道用水供給事業との統合に伴う基本設計業務委託（令和4～5年度債務負担行為）、右岸牧之原第2調整池ほか地質調査業務委託及び詳細設計業務委託4件を実施した。

## (2) 経理の状況

ア 予算執行状況（消費税及び地方消費税込み）

令和5年度上期における予算執行状況は次のとおりである。

（単位：千円）

区 分	予 算 額 (A)	調定・伺額 (B)	率(%) (B/A)	収入・執行額 (C)	率(%) (C/A)
収益的収入	4,285,516	1,687,895	39.4	1,411,434	32.9
営業収益	3,353,368	1,683,354	50.2	1,406,893	42.0
営業外収益	932,148	4,541	0.5	4,541	0.5
収益的支出	4,114,175	1,242,851	30.2	796,524	19.4
営業費用	4,006,195	1,207,043	30.1	760,716	19.0
営業外費用	97,980	35,808	36.5	35,808	36.5
予備費	10,000	0	0.0	0	0
収入・支出差引	171,341	445,044	—	614,910	—
資本的収入	372,415	107,786	28.9	107,786	28.9
出資金	163,494	81,747	50.0	81,747	50.0
企業債	156,000	0	0.0	0	0.0
負担金	52,921	26,039	49.2	26,039	49.2
資本的支出	2,309,334	1,882,495	81.5	343,687	14.9
建設改良費	1,684,530	1,572,469	93.3	33,661	2.0
企業債償還金	623,804	310,026	49.7	310,026	49.7
予備費	1,000	0	0.0	0	0.0
収入・支出差引	△ 1,936,919	△ 1,774,709	—	△ 235,901	—

（注）予算額（A）欄は、令和4年度からの繰越分を含む。

### (3) その他の予算

#### ア 一時借入金の限度額

一時借入金は、限度額 300,000,000 円に対し、上期の借り入れはなかった。

#### イ 議会の議決を経なければ流用することができない経費

職員給与費は予算額 215,207,000 円に対し、上期の執行額は 84,055,320 円であった。

交際費は予算額 100,000 円に対し、上期の執行はなかった。

#### ウ 他会計からの補助

長島ダム管理費負担金及び国有資産等所在市町村交付金相当額納付金の支払に充てるために静岡県的一般会計から受け入れる補助金は、予算額 406,859,000 円に対し、上期の受け入れはなかった。

#### エ たな卸資産購入限度額

たな卸資産は、購入限度額 1,000,000 円に対し、上期の執行はなかった。